

喬木村トンネル個別施設計画



令和 2 年 3 月
喬木村
高速交通対策課

目 次

1、トンネル個別施設計画の目的

1-1 背景

1-2 目的

2、道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

2-1 基本方針

2-2 定期点検・診断

2-3 計画期間の考え方

3、計画期間

3-1 計画期間の考え方

4、施設の状態・対策内容・実施時期・対策費用

4-1 トンネルの状態

4-2 対策内容と実施時期

1、トンネル個別施設計画の目的

1-1 背景

道路施設の老朽化が全国的な課題となる中で、平成 24 年 12 月に山梨県の中央自動車道笹子トンネルで発生した天井板落下事故を契機に国土交通省では平成 25 年を社会資本メンテナンス元年と位置づけました。

喬木村においては、トンネルを 1 箇所管理しています。道路トンネルが担う役割は比較的大きく、村民の生活のみならず、災害時の救助・物資の輸送等の緊急活動を迅速に行うためにも重要な基盤施設です。したがって、今後は生活の利便性案税制の確保、また地域活性化のためにも、より計画的なトンネル維持管理を行い、限られた予算の中で効率的にトンネルを維持していく必要があります。

・喬木村の管理するトンネル（位置は、別紙 1 参照）

トンネル名	路線	延長	幅員	建設年	工法
上平トンネル	村道 586 号線	173.0m	8.7m	1993 年 (平成 5 年)	NATM

1-2 目的

喬木村が管理しているトンネルについて、従来の事後的な修繕から予防的な修繕を目指します。また、トンネルの長寿命化並びにトンネルの修繕に係る費用の縮減を図りつつ、道路の安全性・信頼性を確保することを目的として、本計画を策定しました。

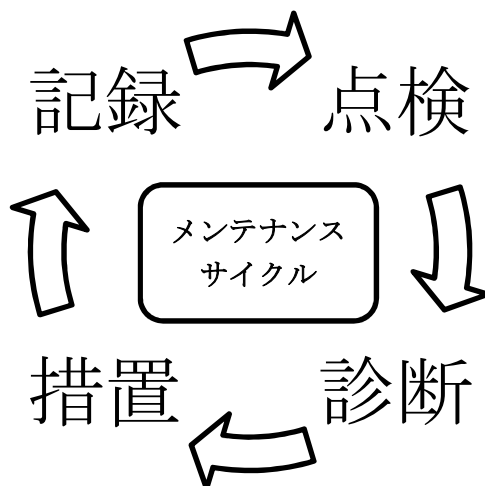
2、道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

2-1 基本方針

トンネルの老朽化対策を確実に進めるため、点検から始まり、診断、措置、記録というメンテナンスサイクルを構築します。

メンテナンスサイクルの推進により、適切な維持管理を実施します。

また、喬木村で管理するトンネルについて、道路トンネル個別施設計画を策定します。



2-2 定期点検・診断

道路トンネル定期点検要領（国土交通省道路局国道・防災課平成 26 年 6 月）に基づき 5 年に 1 度の頻度で点検を実施し健全性を診断します。定期点検は、近接目視により行うことを基本とします。近接目視とは、肉眼により部材の変状等の状態を把握し、評価が行える距離まで接近して目視を行うことを想定しています。診断結果については、4 段階で区分し、区分に応じた適切な措置を講じます。

健全性の判定区分		
区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない段階
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい段階
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき段階
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき段階

3、計画期間

3-1 計画期間の考え方

5 年に 1 回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかとなるよう計画期間は 10 年とします。なお、最新の点検結果を考慮し、随時計画を更新していきます。

4、施設の状態・対策内容・実施時期・対策費用

4-1 トンネルの状態

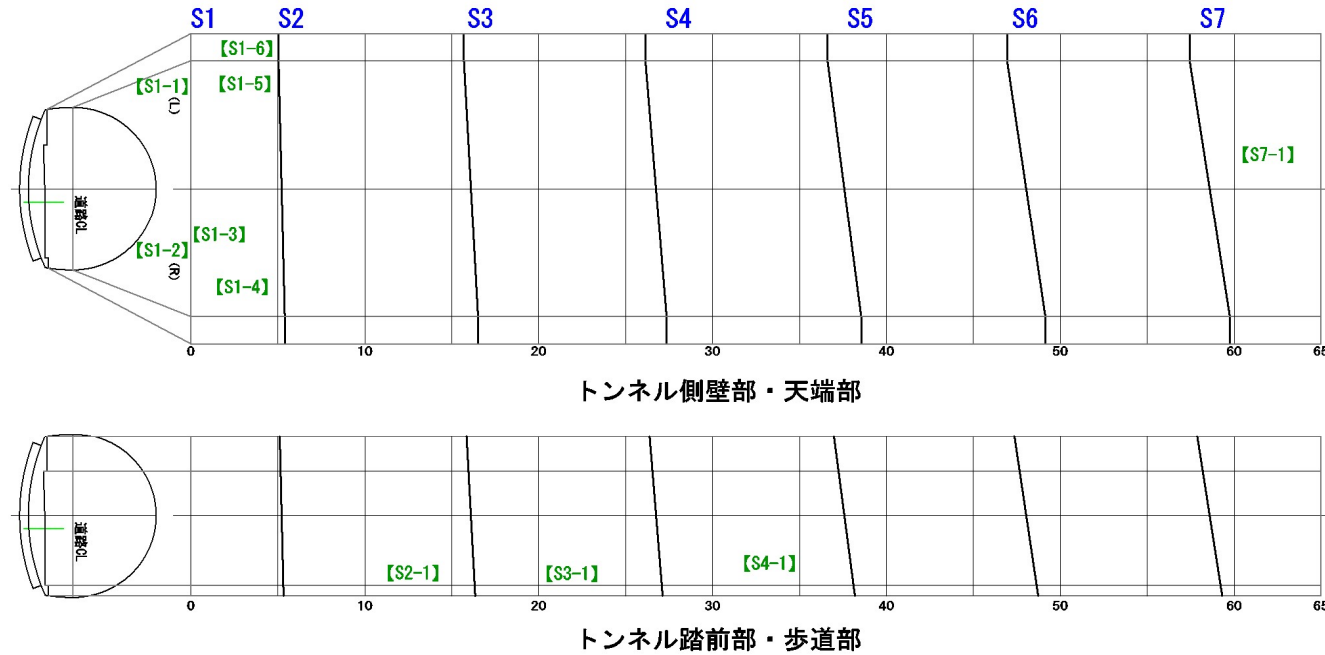
初回の点検では、上平トンネルは構造物の機能に支障が生じていない健全性区分 I でした。（詳細な点検結果は、別紙点検結果調書参照）

トンネル名	健全度	確認された損傷	点検年度
上平トンネル	I	<ul style="list-style-type: none">トンネル本体に対応が必要となる損傷は認められない。照明施設（付属物）に故障が推測される。	平成 28 年度

■点検結果調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図

フリガナ 名称		ウエダイラトンネル 上平トンネル		路線名	村道 586号線			管理者名	長野県 喬木村			緊急輸送道路				
所在地		自	長野県下伊那郡喬木村	点検業者・点検者名	(株) 嶺水 棚田博士			点検年月日	H28.1.19~20			代替路の有無				
		至	長野県下伊那郡喬木村	調査業者・調査技術者名				調査年月日				トンネル延長	L= 173 m			
起点	緯度	N 35°30'22.47"		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本土工	材質劣化	Ⅱ	-	Ⅲ	-	Ⅳ	-	トンネル毎 の健全性	Ⅰ	附属物の 取付状態	○
	経度	E137°53'33.09"				漏水	Ⅱ	-	Ⅲ	-	Ⅳ	-				
終点	緯度	N 35°30'19.81"				外力	Ⅱ	-	Ⅲ	-	Ⅳ	-				
	経度	E137°53'25.72"														

トンネル変状・異常箇所写真位置図



上平トンネル写真撮影位置図(1/3):【】内は写真番号を示す。

写真番号の記載例

写真-【覆工スパン番号】-【変状番号】

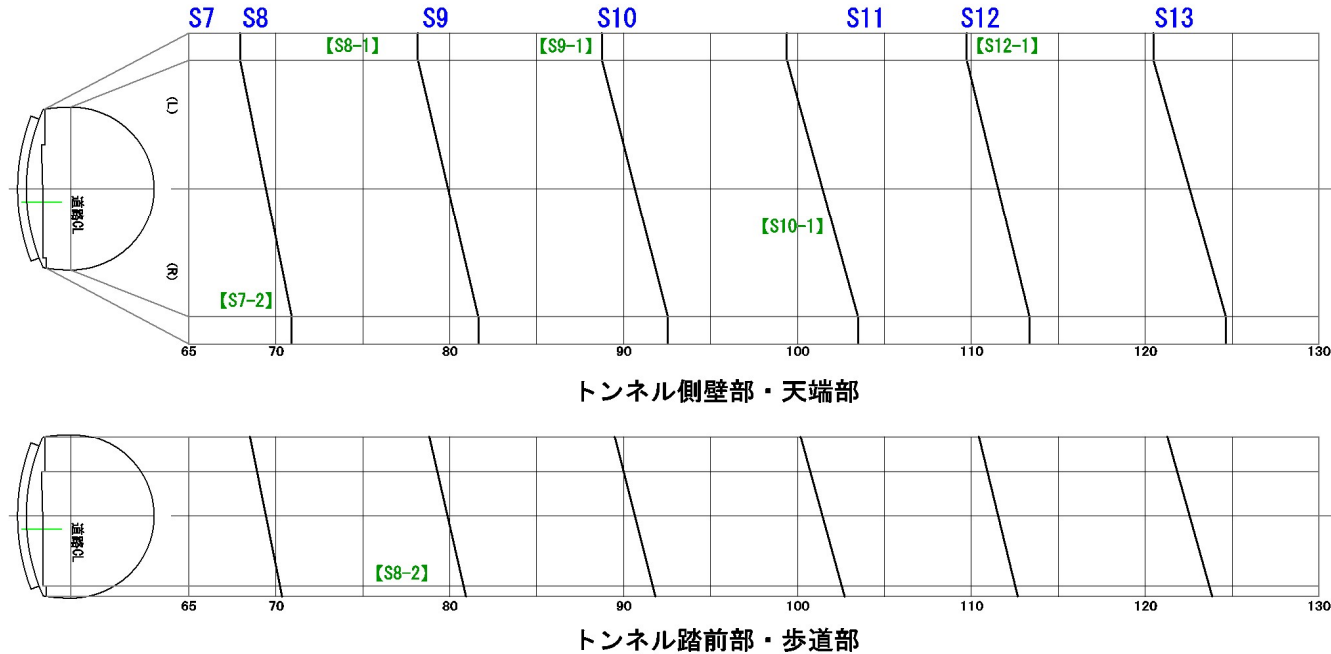
- 注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。
- 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。
- 注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。
- 注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
- 注5：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること。

- ※1 トンネル本土工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。
- ※2 本土工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ(対策実施後のⅠを含む)について記載すること。
- ※3 附属物の異常に対しては、判定区分×(対策実施後の○を含む)について記載すること。

■点検結果調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図

フリガナ 名称		ウエダイラトンネル 上平トンネル		路線名	村道 586号線			管理者名	長野県 喬木村			緊急輸送道路				
所在地		自	長野県下伊那郡喬木村	点検業者・点検者名	(株)嶺水 棚田博士			点検年月日	H28.1.19~20			トンネル延長	L= 173 m			
		至	長野県下伊那郡喬木村	調査業者・調査技術者名				調査年月日				トンネルの分類	山岳トンネル(NATM)			
起点	緯度	N 35°30'22.47"		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本土工	材質劣化	Ⅱ	-	Ⅲ	-	Ⅳ	-	トンネル毎 の健全性	Ⅰ	附属物の 取付状態	○
	経度	E137°53'33.09"				漏水	Ⅱ	-	Ⅲ	-	Ⅳ	-				
終点	緯度	N 35°30'19.81"				外力	Ⅱ	-	Ⅲ	-	Ⅳ	-				
	経度	E137°53'25.72"														

トンネル変状・異常箇所写真位置図



上平トンネル写真撮影位置図(2/3):【】内は写真番号を示す。

写真番号の記載例

写真-【覆工スパン番号】-【変状番号】

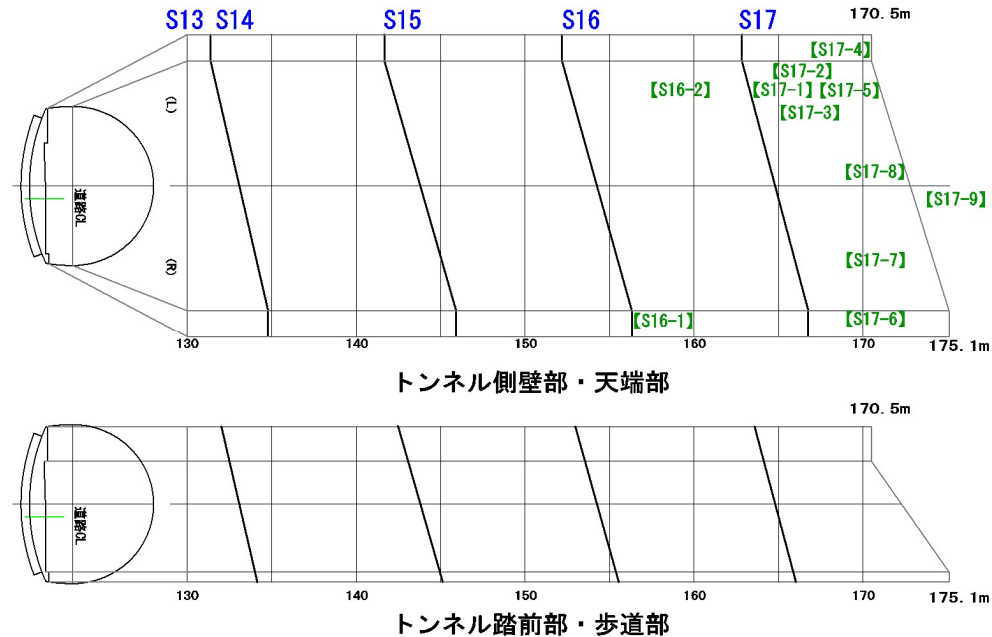
- 注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。
- 注2：覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。
- 注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。
- 注4：横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
- 注5：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること。

- ※1 トンネル本土工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。
- ※2 本土工の変状に対しては、判定区分Ⅱ～Ⅳ(対策実施後のⅠを含む)について記載すること。
- ※3 附属物の異常に対しては、判定区分×(対策実施後の○を含む)について記載すること。

■点検結果調書 トンネル変状・異常箇所写真位置図

フリガナ 名称		ウエダイラトンネル 上平トンネル		路線名	村道 586号線			管理者名	長野県 喬木村			緊急輸送道路				
所在地		自	長野県下伊那郡喬木村	点検業者・点検者名	(株)嶺水 棚田博士			点検年月日	H28.1.19~20			トンネル延長	L= 173 m			
		至	長野県下伊那郡喬木村	調査業者・調査技術者名				調査年月日				トンネルの分類	山岳トンネル(NATM)			
起点	緯度	N 35°30'22.47"		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本土工	材質劣化	Ⅱ	-	Ⅲ	-	Ⅳ	-	トンネル毎 の健全性	Ⅰ	附属物の 取付状態	○
	経度	E137°53'33.09"				漏水	Ⅱ	-	Ⅲ	-	Ⅳ	-				
終点	緯度	N 35°30'19.81"				外力	Ⅱ	-	Ⅲ	-	Ⅳ	-				
	経度	E137°53'25.72"														

トンネル変状・異常箇所写真位置図



上平トンネル写真撮影位置図(3/3):【】内は写真番号を示す。

写真番号の記載例

写真-【覆工スパン番号】-【変状番号】

- 注1: 本位置図は、見下げた状態で記載すること。
- 注2: 覆工スパン番号は横断方向目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断方向目地毎)に設定すること。
- 注3: 写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。
- 注4: 横断方向目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。
- 注5: 1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること。

- ※1 トンネル本土工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。
- ※2 本土工の変状に対しては、判定区分Ⅱ~Ⅳ(対策実施後のⅠを含む)について記載すること。
- ※3 附属物の異常に対しては、判定区分×(対策実施後の○を含む)について記載すること。

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ウエダイラトンネル		路線名	村道 586号線		点検業者・点検者名	(株)嶺水 棚田博士		点検年月日	2016年8月15日		
名称		上平トンネル		管理者名	長野県 喬木村		調査業者・調査技術者名			調査年月日			
写真番号	覆工スパン番号	-		写真			写真番号	覆工スパン番号	S1		写真		
	変状番号	-						変状番号	2				
変状部位	対象箇所	(南西(飯田)側坑門工)		変状部位			変状部位	対象箇所	覆工(坑門工)		変状部位		
	部位区分							部位区分	右天端				
変状区分				変状区分		外力		変状種類		ひび割れ			
健全性		点検・調査後		健全性		点検・調査後	I		措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態					
調査(方針)				調査(方針)				実施状況(実施日)					
措置(方針)				措置(方針)				実施状況(実施日)					
メモ		喬木村役場側坑門工(全景)		メモ		IMG0053							
写真番号	覆工スパン番号	S1		写真			写真番号	覆工スパン番号	S1		写真		
	変状番号	1						変状番号	3				
変状部位	対象箇所	覆工(坑門工)		変状部位			変状部位	対象箇所	覆工		変状部位		
	部位区分	左天端						部位区分	右天端				
変状区分		外力		変状区分		外力		変状種類		ひび割れ			
健全性		点検・調査後	I	健全性		点検・調査後	I		措置後				
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				前回点検時の状態					
調査(方針)				調査(方針)				実施状況(実施日)					
措置(方針)				措置(方針)				実施状況(実施日)					
メモ		IMG0010		メモ		IMG0057							

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

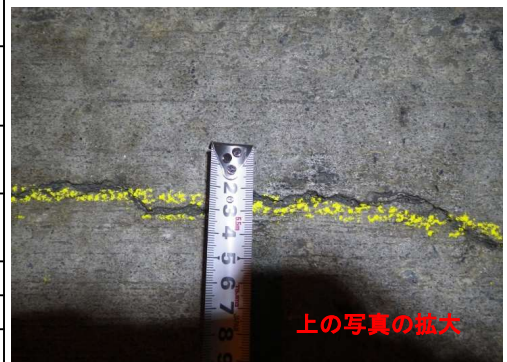
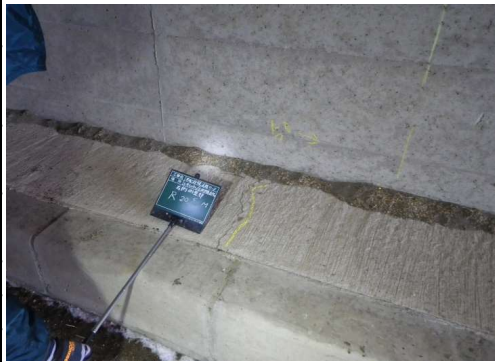
フリガナ		ウエダイラトンネル		路線名	村道 586号線		点検業者・点検者名	(株)嶺水 棚田博士		点検年月日	2016年8月15日	
名称		上平トンネル		管理者名	長野県 喬木村		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S1		写真 番号	覆工 スパン 番号	S1		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	4			変状 番号	6			部位 区分	左側壁		
変状 部位	対象 箇所	覆工			変状 部位	対象 箇所	覆工					
	部位 区分	右側壁				部位 区分	左側壁					
変状区分		外力			変状区分		外力					
変状種類		ひび割れ			変状種類		ひび割れ					
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		措置後				
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模					変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態					前回点検時の状態							
調査(方針)					調査(方針)							
措置(方針)					措置(方針)							
メモ		IMGP0282			メモ		IMGP0104					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S1		写真 番号	覆工 スパン 番号	S1		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	5			変状 番号	6(拡大)			部位 区分	左側壁		
変状 部位	対象 箇所	覆工			変状 部位	対象 箇所	覆工					
	部位 区分	左天端				部位 区分	左側壁					
変状区分		外力			変状区分		外力					
変状種類		ひび割れ			変状種類		ひび割れ					
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		措置後				
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模					変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態					前回点検時の状態							
調査(方針)					調査(方針)							
措置(方針)					措置(方針)							
メモ		IMGP0015			メモ		IMGP0110					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ウエダイラトンネル		路線名	村道 586号線		点検業者・点検者名	(株)嶺水 棚田博士		点検年月日	2016年8月15日			
名称		上平トンネル		管理者名	長野県 喬木村		調査業者・調査技術者名			調査年月日				
写真 番号	覆工 スパン 番号	S2		写真 番号	覆工 スパン 番号	S4		変状 部位	対象 箇所	舗装(Co)		変状 区分	不明	
	変状 番号	1			変状 番号	1			部位 区分	車道			不明	
変状 部位	対象 箇所	舗装(Co)		変状 部位	対象 箇所	舗装(Co)		変状 種類	ひび割れ		健全性	点検・調査後	I	
	部位 区分	車道			部位 区分	車道			措置後					
変状区分		不明		変状区分		不明		変状の発生範囲の規模						
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		前回点検時の状態						
調査(方針)				調査(方針)				実施状況(実施日)						
措置(方針)				措置(方針)				実施状況(実施日)						
メモ		IMGPO230		メモ		IMGPO222								
写真 番号	覆工 スパン 番号	S3		写真 番号	覆工 スパン 番号	S4		変状 部位	対象 箇所	舗装(Co)		変状 区分	不明	
	変状 番号	1			変状 番号	1(拡大)			部位 区分	監視員通路			不明	
変状 部位	対象 箇所	舗装(Co)		変状 部位	対象 箇所	舗装(Co)		変状 種類	ひび割れ		健全性	点検・調査後	I	
	部位 区分	監視員通路			部位 区分	車道			措置後					
変状区分		不明		変状区分		不明		変状の発生範囲の規模						
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		前回点検時の状態						
調査(方針)				調査(方針)				実施状況(実施日)						
措置(方針)				措置(方針)				実施状況(実施日)						
メモ		IMGPO005		メモ		IMGPO217								



※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ウエダイラトンネル		路線名	村道 586号線		点検業者・点検者名	(株)嶺水 棚田博士		点検年月日	2016年8月15日	
名称		上平トンネル		管理者名	長野県 喬木村		調査業者・調査技術者名			調査年月日		
写真 番号	覆工 スパン 番号	S7		写真 番号	覆工 スパン 番号	S8		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	1			変状 番号	1			部位 区分	左天端		
変状 部位	対象 箇所	覆工			変状 部位	対象 箇所	覆工			変状 区分	-	
	部位 区分	左天端				部位 区分	左側壁				変状種類	
変状区分		-			変状区分		外力			変状種類		豆板
健全性	点検・調査後	○		健全性	点検・調査後	I		措置後				
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模					変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態					前回点検時の状態							
調査(方針)					調査(方針)					実施状況(実施日)		
措置(方針)					措置(方針)					実施状況(実施日)		
メモ		IMGP0067			メモ		IMGP0152					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S7		写真 番号	覆工 スパン 番号	S8		変状 部位	対象 箇所	覆工		
	変状 番号	2			変状 番号	2			部位 区分	右側壁～監査廊		
変状 部位	対象 箇所	覆工			変状 部位	対象 箇所	覆工			変状 区分	-	
	部位 区分	右天端				部位 区分	右側壁～監査廊				変状種類	
変状区分		-			変状区分		外力			変状種類		(ツバメの営巣)
健全性	点検・調査後	○		健全性	点検・調査後	I		措置後				
	措置後				措置後							
変状の発生範囲の規模					変状の発生範囲の規模							
前回点検時の状態					前回点検時の状態							
調査(方針)					調査(方針)					実施状況(実施日)		
措置(方針)					措置(方針)					実施状況(実施日)		
メモ		IMGP0086			メモ		IMGP0041					

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ウエダイラトンネル		路線名	村道 586号線		点検業者・点検者名	(株)嶺水 棚田博士		点検年月日	2016年8月15日			
名称		上平トンネル		管理者名	長野県 喬木村		調査業者・調査技術者名			調査年月日				
写真 番号	覆工 スパン 番号	S9		写真 番号	覆工 スパン 番号	S12		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	外力	
	変状 番号	1			変状 番号	1			部位 区分	左側壁			ひび割れ	
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		健全性	点検・調査後	I		措置後		
	部位 区分	左側壁			部位 区分	左側壁			措置後					
変状区分		外力		変状区分		外力		変状の発生範囲の規模						
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状の発生範囲の規模						
健全性		点検・調査後		健全性		点検・調査後		措置後						
措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模										
前回点検時の状態				前回点検時の状態										
調査(方針)				調査(方針)				実施状況(実施日)						
措置(方針)				措置(方針)				実施状況(実施日)						
メモ		IMGPO167		メモ		IMGPO192								
写真 番号	覆工 スパン 番号	S10		写真 番号	覆工 スパン 番号	S16		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 区分	外力	
	変状 番号	1			変状 番号	1			部位 区分	右側壁			ひび割れ	
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		健全性	点検・調査後	○		措置後		
	部位 区分	左天端			部位 区分	右側壁			措置後					
変状区分		-		変状区分		外力		変状の発生範囲の規模						
変状種類		豆板		変状種類		ひび割れ		変状の発生範囲の規模						
健全性		点検・調査後		健全性		点検・調査後		措置後						
措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模										
前回点検時の状態				前回点検時の状態										
調査(方針)				調査(方針)				実施状況(実施日)						
措置(方針)				措置(方針)				実施状況(実施日)						
メモ		IMGPO124		メモ		IMGPO065								

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ウエダイラトンネル		路線名	村道 586号線		点検業者・点検者名	(株)嶺水 棚田博士		点検年月日	2016年8月15日				
名称		上平トンネル		管理者名	長野県 喬木村		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S16		写真 番号	覆工 スパン 番号	S17		写真 番号	覆工 スパン 番号	S17		写真 番号	覆工 スパン 番号	S17	
	変状 番号	2			変状 番号	2			変状 番号	2			変状 番号	2	
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	部位 区分	左側壁			部位 区分	左天端			部位 区分	左天端			部位 区分	左天端	
変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化		変状区分		材質劣化	
変状種類		ノロ		変状種類		遊離石灰		変状種類		遊離石灰		変状種類		遊離石灰	
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I	
	措置後				措置後				措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態			
調査(方針)				調査(方針)				調査(方針)				調査(方針)			
措置(方針)				措置(方針)				措置(方針)				措置(方針)			
メモ		IMGP0237		メモ		IMGP0030		メモ		IMGP0030		メモ		IMGP0030	
写真 番号	覆工 スパン 番号	S17		写真 番号	覆工 スパン 番号	S17		写真 番号	覆工 スパン 番号	S17		写真 番号	覆工 スパン 番号	S17	
	変状 番号	1			変状 番号	3			変状 番号	3			変状 番号	3	
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	部位 区分	左天端			部位 区分	左天端			部位 区分	左天端			部位 区分	左天端	
変状区分		外力		変状区分		外力		変状区分		外力		変状区分		外力	
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ	
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I	
	措置後				措置後				措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態			
調査(方針)				調査(方針)				調査(方針)				調査(方針)			
措置(方針)				措置(方針)				措置(方針)				措置(方針)			
メモ		IMGP0023		メモ		IMGP0044		メモ		IMGP0044		メモ		IMGP0044	

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ウエダイラトンネル		路線名	村道 586号線		点検業者・点検者名	(株)嶺水 棚田博士		点検年月日	2016年8月15日				
名称		上平トンネル		管理者名	長野県 喬木村		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S17		写真 番号	覆工 スパン 番号	S17		写真 番号	覆工 スパン 番号	S17		写真 番号	覆工 スパン 番号	S17	
	変状 番号	4			変状 番号	6			変状 番号	6					
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	部位 区分	左側壁			部位 区分	右側壁			部位 区分	右側壁					
変状区分		外力		変状区分		外力		変状区分		外力		変状区分		外力	
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ	
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I	
	措置後				措置後				措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態			
調査(方針)				調査(方針)				調査(方針)				調査(方針)			
措置(方針)				措置(方針)				措置(方針)				措置(方針)			
メモ		IMGPO266		メモ		IMGPO094		メモ		IMGPO094		メモ		IMGPO094	
写真 番号	覆工 スパン 番号	S17		写真 番号	覆工 スパン 番号	S17		写真 番号	覆工 スパン 番号	S17		写真 番号	覆工 スパン 番号	S17	
	変状 番号	5			変状 番号	7			変状 番号	7					
変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工		変状 部位	対象 箇所	覆工	
	部位 区分	左天端			部位 区分	右天端			部位 区分	右天端					
変状区分		外力		変状区分		外力		変状区分		外力		変状区分		外力	
変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ		変状種類		ひび割れ	
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後	I	
	措置後				措置後				措置後				措置後		
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態				前回点検時の状態			
調査(方針)				調査(方針)				調査(方針)				調査(方針)			
措置(方針)				措置(方針)				措置(方針)				措置(方針)			
メモ		IMGPO032		メモ		IMGPO157		メモ		IMGPO157		メモ		IMGPO157	

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう

■点検結果調書 変状写真台帳

フリガナ		ウエダイラトンネル		路線名	村道 586号線		点検業者・点検者名	(株)嶺水 棚田博士		点検年月日	2016年8月15日				
名称		上平トンネル		管理者名	長野県 喬木村		調査業者・調査技術者名			調査年月日					
写真 番号	覆工 スパン 番号	S17		変状 部位	対象 箇所	覆工		写真 番号	覆工 スパン 番号	-		変状 番号	変状 番号	-	
	変状 番号	8			部位 区分	右天端			対象 箇所	(北東(豊丘)側坑門工)			部位 区分		
変状 区分		外力		変状 種類		ひび割れ		変状 区分				変状 種類			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			措置後				措置後			
	措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
前回点検時の状態				前回点検時の状態				調査(方針)				実施状況(実施日)			
調査(方針)				実施状況(実施日)				措置(方針)				実施状況(実施日)			
措置(方針)				実施状況(実施日)				措置(方針)				実施状況(実施日)			
メモ		IMG0160		メモ		豊丘村側坑門工(全景)									
写真 番号	覆工 スパン 番号	S17		変状 部位	対象 箇所	覆工(坑門工)		写真 番号	覆工 スパン 番号			変状 番号	変状 番号		
	変状 番号	9			部位 区分	右天端			対象 箇所				部位 区分		
変状 区分		外力		変状 種類		ひび割れ		変状 区分				変状 種類			
健全性	点検・調査後	I		健全性	点検・調査後			措置後				措置後			
	措置後				措置後										
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
前回点検時の状態				前回点検時の状態				調査(方針)				実施状況(実施日)			
調査(方針)				実施状況(実施日)				措置(方針)				実施状況(実施日)			
措置(方針)				実施状況(実施日)				措置(方針)				実施状況(実施日)			
メモ		IMG0171		メモ											

※ たたき落とし、締直しを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。
 ※ 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

※ 応急対策を実施した場合は、その実施状況が分かる写真を添付すること。
 ※ 変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう